２ 地理歴史・公民

| 学校番号 | 1101 |
|---|---|

# 令和2年度 地理歴史科

| 教科 | 地理歴史科 | 科目 | 日本史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　改訂版　日本史Ａ」（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 「プロムナード日本史」（浜島書店） | | | | | | |

## １ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## ２ 学習の到達目標

・我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## ３ 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>レポート・ノート<br>〔主題学習〕<br>振り返りシート | 定期考査<br>ワークシート<br>〔主題学習〕<br>レポート<br>報告会での発表内容 | 定期考査<br>ワークシート<br>〔主題学習〕<br>ポスター | 定期考査<br>小テスト<br>〔主題学習〕<br>内容のまとまり |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 学習内容および評価の観点 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 近代国家の形成と国際関係の推移 | 1．近代への胎動<br>2．明治維新<br>3．近代国家の確立<br>4．国際関係の推移と近代産業の発展 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 開国にいたる経緯と幕府の対応、開国以後の情勢について幕府が崩壊して毎時政府が成立したた一連の流れを理解しようとしている<br>b: 明治政府による初期の諸政策の目的を、前時代との違いや問題点を含め幅広い視点から考察している<br>c: 教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。<br>d: 条約改正の目的とその経緯・結果について理解している。<br>日清・日露戦争についてそれぞれの原因と結果について正確に把握している。<br>政党政治の展開を国内や国際情勢の変化の中で理解している。<br>産業の発展がもたらす鋼材について理解している。<br>思想・教育の果たすねらいを踏まえて理解している。 | 授業態度<br>提出課題<br>小テスト<br>ノート提出<br>定期考査 |
| 後期 | 両大戦をめぐる国際情勢 | 1．第一次世界大戦と日本<br>2．第二次世界大戦と日本 | ○ | ○ | | ○<br>○ | a: 政党政治の展開と民衆運動の高揚と因果関係について理解しようとしている。<br>朝鮮や中国における民族運動の高まりについて、日本の外交政策との関連性を探し出そうとしている。<br>b: 日本の第二次世界大戦に至る経緯を、国内的な軍部の台頭による政治状況の変化、経済の動向、国際関係の変化について着目して考察している。<br>d:第一次世界大戦が日本に与えた影響について正しく理解している。<br>アジア諸国の民族運動の要因と内容について正しく把握している。<br>第 2 次世界大戦に至る日本の対外政策の内容について、対アジア諸国、対欧米諸国という視点から理解している。 | 授業態度<br>提出課題<br>小テスト<br>ノート提出<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 現代の日本と世界 | １．日本の再出発<br>２．独立後の政治と経済<br>３．現代の日本と世界 | ○ | ○ | | ○ | a: 主権回復後の日本の動きについて、意欲的に理解を深めようとしている。<br>高度成長期の社会について、現在との比較において、その実態を理解しようとしている。<br>b: 国際社会における日本の役割や課題を踏まえて、考察している。<br>現代社会がかかえる社会問題について戦後から現在までの国民生活の変化の中にその起因となる部分を見つけている。<br>d: 戦後の諸改革によって、それまでと何がどのように変わったのかということを、正確に把握している。またこれらの流れを時系列に正しく把握している。<br>日本国憲法の意義について、大日本帝国憲法との違いを正しく把握している。<br>日本の主権回復に至る経緯について、国際情勢の動きと関連づけて、把握している。 | 授業態度<br>提出課題<br>小テスト<br>ノート提出<br>定期考査 |

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。